江津地域における新設校の制服ミーティング（実施報告）

１　日　時　令和８年 10 月 14 日（水）15:40～16:40

２　場　所　江津高校　多目的室

３　参加者　江津高校生徒６名　江津工業高校生徒５名

４　内　容　新設校の制服についての意見交換

⑴　オープニング

・　県教委から説明（２校の統合、アンケート結果、今日の流れなど）

・　自己紹介

⑵　制服クイズ・ランキング

・　『2026 年度 学科・学校紹介誌』（県教委発行）の「制服紹介」ページから、よいと思う制服を５つ選び、選んだ理由を付箋に書く



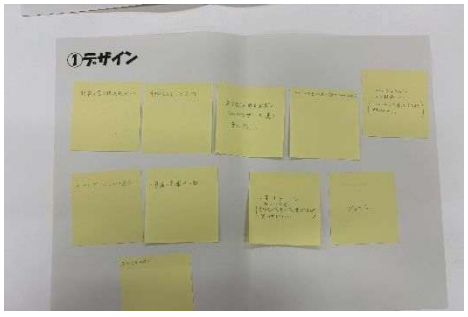

⑶　理想の制服について考える

・　次の５つのカテゴリーについて、理想を考える

①デザイン　②着心地・機能性　③手入れのしやすさ　④価格

⑤選び方・ルール



※時間の都合で①～③のみ実施

【主な意見】

①　デザイン

ブレザータイプとする/シンプルなデザインとする/他校とは異なる斬新なデザインとする/落ち着いた色合いとする/黒や紺を基調とする/複数の色を取り入れる/ネクタイはズボンやブレザーと異なる色にする/ブレザーに紋章を入れる/ネクタイとリボンを選べるようにする/夏場はポロシャツを着用できるようにする

②　着心地・機能性

季節や気温に応じて着方を調整できるようにする/着脱しやすいブレザーとする/長袖・半袖の上着を用意し、天候や気温に応じて選べるようにする/夏服は薄手で通気性のよいものとする/冬服は暖かいものとする/袖をまくりやすくする/動きやすいものとする/伸縮性があり、着やすく便利なポロシャツを取り入れる/透けにくい素材とする/吸汗性・速乾性に優れた素材とする/転んでも破れにくい丈夫な素材とする

③　手入れのしやすさ

洗濯機で洗えて、型崩れしにくいものとする/汚れが落ちやすいものとする/乾きやすい素材とする/しわがつきにくく、アイロンがけの手間が少ないものとする/毛玉ができにくい素材とする/汚れにくい素材とする/洗濯の頻度を抑えられるものとする/黄ばみやアイロンがけの負担を考慮し、ポロシャツを取り入れる

⑷　クロージング

- 今日のふりかえり
- 今後のスケジュール等について説明



５　事後アンケートについて

⑴　アンケートの概要

①　対象者　制服ミーティングに参加した生徒 11 人
②　回答者数　11 人（江津高校６人、江津工業高校５人）
③　回収率　100％

⑵　アンケート結果

①　参加に対する評価

質問：制服ミーティングに参加して良かったですか。

- 良かった　　11 人（100％）
- 良くなかった　　０人（０％）
- どちらでもない　０人（０％）

②　参加した感想（自由記述）

- 高校生の視点で「こうだったらいいな」という意見をたくさん出し合えて良い話し合いができた。
- 制服は学校の中で１番と言っていいほど大事だと思うので、制服のことについて自分の意見を話せてよかった。
- 自分の率直な意見が出せてよかった。
- 新設校の新しい制服について様々な意見を聞くことができて、新設校についての関心が高まるような良いミーティングだった。
- すごくよい意見交換ができたので、これからのミーティングでも続けていきたい。
- 自分が考えないような色々なアイデアが出てよかった。
- みんな違った意見があり、制服のことについて考えることができて楽しかった。また、自分の意見も言うことができ良い経験になった。
- いろいろな人の案や意見をたくさん聞けていいミーティングになった。とても良い経験になった。
- 少人数だったが、たくさんの意見が出て大変有意義な話し合いだった。例えば、私が良いと考えていた制服も、話し合ってみるとメリットだけでなくデメリットがあることも分かった。より良い制服になりそうだと思った。
- 自分が制服について思っていたことが全部言えたので嬉しかったし、ミーティングに参加してよかったなと思った。他の人の意見も聞けて、「なるほど」と思うこともあって、若い人とのミーティングも大事だなと思った。
- 他校の生徒と一緒に話し合いができてよかった。制服について考える機会は滅多にないので、とても良い経験になった。

※趣旨を変えない範囲で、表現の一部を修正して掲載

⑶　アンケート結果から見える成果

①　生徒の意見を表明する機会の確保

制服について自分の考えや希望を伝えられたことを肯定的に捉える記述が多く、生徒自身の意見を表明する機会となった。

②　多様な意見に触れることによる気付き

他の参加者の意見を聞き、自分にはなかったアイデアや、制服のメリット・デメリットに気付いたとの記述があり、制服について多面的に考える機会となった。

③　新設校への関心と両校生徒の交流

新設校への関心が高まったとの記述や、他校の生徒と話し合えたことを評価する記述があり、新設校について考えるとともに、両校の生徒が交流する機会となった。

⑷　今後の対応

①　制服検討への活用

ミーティングで出された意見を整理し、制服のコンセプトやデザイン等を検討する際の参考とする。

→　別紙「江津地域の新設校における新制服のコンセプト」に記載

②　検討状況の共有

生徒の意見がどのように検討に生かされたかを、参加者等に分かりやすく伝える。

→　別紙「江津地域の新設校における新制服のコンセプト」を参加者および制服検討委員会のメンバー（両校の教員６名とコンソーシアム１名の計７名）に配布

③　児童生徒が意見を伝える機会の検討

今回の実施方法やアンケート結果を踏まえ、今後の新設校づくりにおいても、児童生徒が意見を伝えられる機会を検討する。

→　校歌に盛り込むワード・フレーズ、校名、校章などの募集において、児童生徒が多く参加できるように工夫

６　今後について

今回の制服ミーティングで出た意見と制服アンケートの結果を踏まえて、制服検討委員会において「新制服のコンセプト」を決定し、それに基づいたメーカー選定のためのプレゼンテーションを 12 月下旬に実施する。メーカー決定後、詳細について検討して令和９年４月下旬頃に新制服を発表予定。

江津地域の新設校における新制服のコンセプト

⑴　デザイン

「着る喜びと、新しい学校への愛着が生まれるデザイン」

- 生徒の希望を取り入れた色合いや柄、シルエット
- 他校との違いが感じられる、新設校ならではの特色がある
- 江津地域や両校らしさを取り入れる工夫
- 夏服も含めた、年間を通じて魅力のある装い

⑵　着心地・機能性

「暑さや寒さに対応し、毎日を快適に過ごせる制服」

- 軽さや伸縮性、通気性などを備えた素材
- 重ね着や上着の着脱による、体温調節のしやすさ
- 肌への刺激や首回りの窮屈さを抑える工夫
- 夏用ポロシャツなどの選択肢と、汗の目立ちにくさや下着の透けへの配慮

⑶　手入れのしやすさ

「自分で手入れができ、清潔に長く着られる制服」

- 家庭で洗濯でき、乾きやすい素材
- シワになりにくく、アイロン掛けの負担が少ない仕様
- 汚れが落ちやすく、目立ちにくい工夫
- 型崩れや傷みに強く、３年間の着用を見据えた耐久性

⑷　価格

「購入から卒業まで、家庭の負担を抑えられる制服」

- 一式をそろえる際の総額を抑える工夫
- 必須購入品を必要最小限にし、希望に応じて追加できる仕組み
- シャツやセーターなどへの市販品の活用
- 買い替えや付属品の補充がしやすい価格設定

⑸　選び方・ルール

「一人ひとりに合った装いを、自分で選べる制服」

- スカート・スラックス、リボン・ネクタイなどを性別にかかわらず選択
- 気温や体調に応じた上着の着脱や、夏服・冬服の選択
- 感覚過敏など、個々の事情に応じた着用方法への配慮
- 指定品と市販品の範囲、式典時と日常の着用ルールの明確化

※　制服アンケート（令和８年８月実施）と制服ミーティング（令和８年 10 月実施）をもとに、制服検討委員会で検討

※　着色部分は制服ミーティングにおいて出た意見

※　ミーティング当日は時間の都合で⑴～⑶についてのみ検討